

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 藤田製作所 本社工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

大型製品の生産量が大幅に増加した為、計画していた削減目標を達成できません でした。
塗料の見直しを行い低VOC製品を検討しているが、現在使用しているもの より高価な為、代替を見合わせています。
塗装方法の改善によるVOC排出量削減の検討。塗装機導入を検討中。
社内での塗り直し(社内不良)が多数発生していたが、改善により大幅に 削減できた。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。